

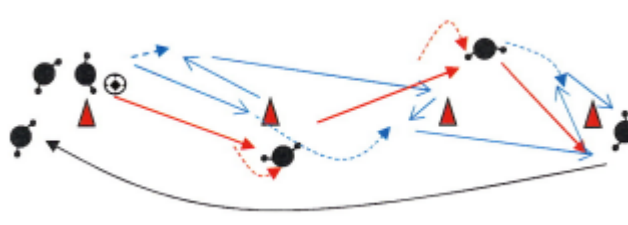
2023 年度 第 1 回鈴鹿地区 MTK 報告書

2023.6.15 19:00~21:00
三交 G スポーツの杜 鈴鹿
参加者 30 人

FA コーチ樋口士郎氏を招聘し、地区トレセン U-12 選手を対象に「ポゼッション（幅と深さ）・パススピード」というテーマで指導実践をいただき、学ぶ機会を得ました。

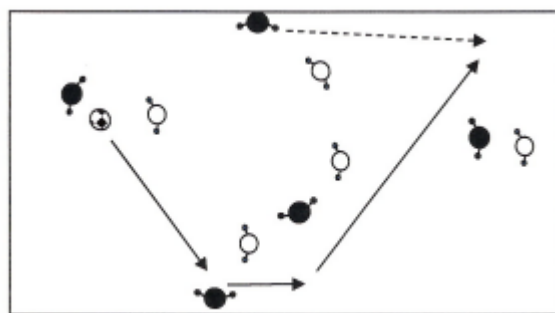
W-up：パス&コントロール

- パスとコントロールの質を高めながら、ボールの移動中に「チラ見」することを要求
- ・遠い足 ・カットイン
- ・当てて落として3人目
- ・帰りは、ドリブルやリフティングをしながら移動



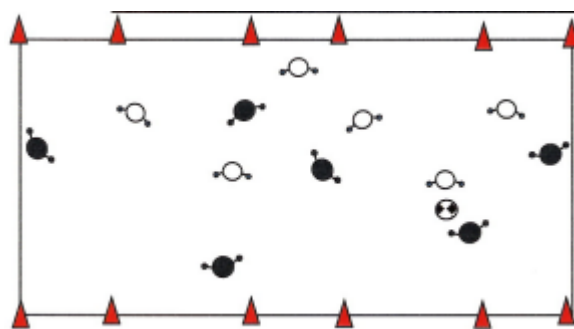
TR 1：5 対 5（縦長、ラインゴール）

- W-UP でのシーンが頻発する設定。パスの質、コントロールの質、ギャップを共有すること、DF の状況を「観て判断する」ことが求められていきました。
- 守備の強度、攻守の切り替えを要求し、ハイプレッシャー中で動きながらのテクニックが求められていった。



TR 2：6 対 6（横長 6 ラインゴール）

- コーン間をドリブル通過で得点。
- まず攻撃の優先順位を要求しながら幅と深さを要求。
- フリーズによりサポートやリスクマネジメントのポジションを確認。突破が難しい際のサイドチェンジや、失った後の守備の対応を可能とする。
- ※ここが大きな課題であると感じた



GAME：8 対 8（ノーマルゲーム）

- GAME が始まるとオフの課題が現れる。まず、攻撃時の最終ラインのリスクマネジメントについて修正。簡単にカウンターで失点しないことを要求。
- その後もオフの改善に関するコーチンが続いた。

樋口 FA コーチの実践から、オフのプレーについてまず指導者が見る目を養うことが大切であると感じた。

